

VMware vSphere Remote Office Branch Office のエディション

業界をリードする仮想化プラットフォームの機能をリモート サイトまで拡張

リモート サイトで実行されるビジネス アプリケーションのワークロードは 4 分の 1 に

現在多くの企業が、リモート オフィスおよび支社 (ROBO) のそれぞれに、ローカルの IT インフラストラクチャを構築しています。通常、このようなリモート サイトでは、数台のサーバで少数のワークロードを実行して、ローカル ニーズに対応しています。しかし、インフラストラクチャが遠隔地に分散している場合、次のような理由で管理や保護が困難になり、メンテナンス コストも高くなります。

- **IT スタッフの不足**：リモート サイトでは現地の IT スタッフが不足しており、サーバのプロビジョニングや構成、アップデートやトラブルシューティングなどのリモート サイトからの IT リクエストにおけるサービス レベルに関する課題が増加しています。
- **ホスト構成の一貫性の欠如**：ホスト構成に一貫性がないため、リモート サイトが多数ある場合、トラブルシューティングが複雑になります。また、サーバが物理的に離れた場所にあるため、ソフトウェアのアップグレードやメンテナンスも困難です。
- **IT 予算の制限**：IT 予算が限られているため、リモート サイト用に専用のビジネス継続性ソリューションや冗長ハードウェアを購入することはできません。テープへのバックアップのような安価なソリューションはミスが発生しやすく、メンテナンスに多大な労力が必要な上、盗難や紛失の恐れもあります。
- **設置スペースの制限**：リモート サイトでは設置場所に限りがあるため、サーバの新規導入も難しい場合があります。また、既存の物理ホストは効率的に使用されていません。

リモート オフィスや支社における IT インフラストラクチャ管理方法の変革

業界で最も信頼性に優れた仮想化プラットフォーム、VMware vSphere® を使用して、データセンターからリモート オフィスや支社にまで仮想化を拡張できるようになりました。vSphere Remote Office Branch Office™ は、分散したリモート サイトの IT インフラストラクチャに特化して設計されており、サービス レベルの向上、標準化の促進、可用性の向上、およびコンプライアンスの強化が可能になります。

- **サービス レベルを維持するための俊敏性**：リモート サイトや支社に仮想化を導入して、次の機能を備える仮想マシンとして IT インフラストラクチャを迅速にプロビジョニングおよび管理できるようにします。
- **標準化**：複数のリモート サイトと支社全体に、一貫した標準構成を定義および適用し、ホスト プロファイルを活用して構成エラーを最小限に抑制します。
- **可用性とコンプライアンス**：高度な仮想化機能によって、リモート サイトや支社でビジネス継続性を強化し、規制への準拠をプロアクティブに行います。

低コストで導入可能な VMware の リモート オフィス / 支社向け ソリューション

VMware は、複数のサイトにおける分散ネットワークの仮想化に関心をお持ちの企業向けに、VMware vSphere のエディションを 2 種類ご用意しています。

VMware vSphere Remote Office Branch Office Standard

ビジネス継続性とバックアップ機能を備えた、業界をリードする仮想化プラットフォームです。主な機能とコンポーネントは次のとおりです。

- **VMware vSphere Hypervisor (ESXi™)**：本番環境で実績のある、高性能で堅牢な仮想化レイヤーを提供するアーキテクチャです。これにより、物理環境のスループットと同等以上のパフォーマンスで、複数の仮想マシンが**ハードウェア リソースを共有**できます。仮想化レイヤーを使用することで、**ハードウェアに依存せず**に、任意の仮想マシンを類似する物理サーバまたは異なる物理サーバにプロビジョニングまたは移行できます。また、**カプセル化**によって、仮想マシン全体の状態をそのままファイルに保存でき、ファイルのコピーや移動と同じように、仮想マシンを簡単に移動およびコピーできます。また、仮想マシンは**幅広い種類のゲスト OS をサポート**しています。
- **VMware vSphere vMotion®**：サーバ間での仮想マシンのライブマイグレーションが可能になるため、移行時のユーザーへの影響はなく、サービスの停止も不要です。また、計画的なサーバメンテナンスを行うためにアプリケーションのダウンタイムをスケジューリングする必要がなくなります。
- **VMware vSphere Storage vMotion™**：ユーザーに影響を与えない、仮想マシン ディスクのライブマイグレーションが可能になります。これにより、計画的なストレージメンテナンスやストレージの移行に付随するアプリケーションのダウンタイムを排除できます。
- **VMware vSphere High Availability (HA)**：優れた費用対効果で、ハードウェアやオペレーティング システムに障害が発生した場合でも、すべてのアプリケーションを数分で自動的に再起動します。
- **VMware vSphere Fault Tolerance (FT)**：ハードウェア障害が発生した場合でも、データの損失やダウンタイムなしで、アプリケーションの継続的な可用性を確保します。最大で仮想 CPU 2 個分のワークロードに対応します。

• **VMware vSphere Data Protection™** : EMC Avamar をベースとした、VMware のバックアップおよびレプリケーションソリューションです。特許取得済みの可変長の重複排除機能によってストレージを効率的にバックアップし、迅速なリカバリと WAN 向けに最適化されたレプリケーションでディザスタ リカバリに対応します。vSphere と連携するシンプルなユーザー インターフェイスで、簡単かつ効果的なバックアップも可能です。エージェントを使用しないイメージ レベルで仮想マシンをディスクにバックアップし、Exchange や SQL Server などのビジネス クリティカルなアプリケーションを保護するほか、サイト間で WAN を効率的に使用し、暗号化されたバックアップおよびレプリケーション機能を提供します。

VMware vSphere Replication™ : 複数の時点のスナップショットを作成することで、より細やかなリカバリを実現します。各 vCenter Server が複数のレプリケーション用アプライアンスをサポートできるため、スケーラビリティが向上します。

VMware vShield Endpoint™ : アンチウイルスおよびアンチマルウェア (AV) ソリューションをオフロードすることで、AV エージェントをインストールする必要のない、セキュアな仮想マシンを実現します。

VMware vSphere Remote Office Branch Office Advanced

ホスト構成の標準化やコンプライアンス監視の強化など、高度な仮想化機能を備えた、業界をリードする仮想化プラットフォームです。このエディションには、vSphere Remote Office Branch Office Standard の機能に、次の機能やコンポーネントが追加されています。

- **VMware vSphere ホスト プロファイル** : 管理者は、構成設定を容易に定義、適用、および変更することができます。
 - ホスト レベルで構成設定をキャプチャして、テンプレートとして保存し、別の vSphere ホストの構成時に利用
 - ホストの構成変更を監視し、何か不具合があった場合は、自動的に vSphere 管理者にアラートを通知し、これを元に管理者が構成エラーを修正
 - ファームウェアのアップグレードなどで、クラスタ内の複数のホストのストレージ、ネットワーク、またはセキュリティ構成を変更する必要が生じた場合、管理者はホスト プロファイルを編集してクラスタ全体に適用することで、構成の更新の整合性を維持
- **VMware vSphere Auto Deploy™** : 必要に応じて迅速に vSphere ホストを追加します。vSphere Auto Deploy を実行すると、アップデートされたイメージがホストに反映されます。このため、パッチの適用は不要となり、パッチの適用時間をスケジューリングする必要もありません。

• **VMware vSphere Distributed Switch™** : リモート サイトの同じ物理サーバ上で対象のワークロードと対象外のワークロードを分離できるので、規制への準拠をプロアクティブに管理できます。また、ネットワークの監視を強化することが可能です。

• **VMware vSphere Fault Tolerance** : ハードウェア障害が発生した場合でも、データの損失やダウンタイムなしで、アプリケーションの継続的な可用性を確保します。最大で仮想 CPU 4 個分のワークロードに対応します。

購入方法

各エディションは、仮想マシン 25 台分のライセンスを 1 パックとした、ライセンス パック単位で提供されます。リモート サイトまたは支社ごとに、1 パックのみ展開できます。1 パックに含まれる仮想マシン 25 台分のライセンスを、複数のサイトに分散して使用することも可能です (サイト 1 に仮想マシン 5 台分、サイト 2 に仮想マシン 5 台分など)。

各エディションを使用するには、vSphere (ESXi) および vCenter Server 5.5 Update 2 (5.5U2) 以降が必要です。

リモート オフィスや支社のホストは、VMware vCenter Server Standard™ を使用して統合管理するか、vCenter Server Foundation (別売) を使用してローカルで管理できます。複数の分散サイトから成る大規模なネットワークを仮想化する場合は、VMware Purchasing Program (VPP) を通じて割引価格でライセンスをご購入いただけます。どちらのエディションにも、別売のサポートおよびサブスクリプション (SnS) が提供されており、Basic Support (ベーシック サポート) と Production Support (プロダクション サポート) のいずれかを選択していただけます。SnS は、少なくとも 1 年分を購入する必要があります。

vSphere Remote Office Branch Office の各エディションを購入するには、VMware 認定リセラーにお問い合わせください。

http://www.vmware.com/go/jp_partner

vSphere Remote Office Branch Office の各エディションの比較については、次のサイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/compare.html>

